

(別記様式)

施策評価調書

主管部	教育委員会事務局	対象	25年度
所管部	市民部		

施策の大綱	第 7 節	健やかな人を育む教育・スポーツのまち	(育み の創造)
施策名(3桁)	701	幼児教育の充実	
基本方針	幼児の望ましい成長・発達に応じた教育内容の充実を図るため、多様な人材を活用しながら家庭、地域社会、保育所、幼稚園、小学校、関係部署、関係機関との連携を進め、家庭教育を支援するとともに、幼児期の育ちを支えます。		
達成目標	家庭、地域、学校等の連携により、幼児が健やかに育っている。		

	総合計画の代表指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	
1	幼保小連携教育推進事業実施校(小学校が中心)	10校	数値	15	20	25	31	37校
		H21	達成率	18.5%	37.0%	55.6%	77.8%	
2	家庭教育学級の参加者数(幼児を持つ親が対象)	6,977人	数値	6,433	6,987	8,371	9,961	7,000人
		H20	達成率	-2365.2%	43.5%	6060.9%	12973.9%	
3			数値					
			達成率	-	-	-		
	補足指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	
1	図書館わくわくランド事業参加者数		数値	41	52	47	23	50
			達成率	82.0%	104.0%	94.0%	46.0%	
2			数値					
			達成率	-	-	-		
3			数値					
			達成率	-	-	-		
4			数値					
			達成率	-	-	-		
5			数値					
			達成率	-	-	-		
	市民満足度(市民意識調査)	H21	H23	H25			前回比	
1								

指標分析	幼保小連携教育推進事業実施校数については、毎年5校の小学校を推進校として実施しており、計画通り順調に進捗している。乳幼児家庭教育学級については、こども課と連携し情報発信を行った結果、参加者数は目標値を超えているので、平成26年度は10,000人を目標として取り組む。
つくば市の特殊性	つくば市は、人口が増加している学園中心地域及び住宅開発が進んでいるTX沿線地域と、人口の減少が目立つ周辺地域が存在する。その違いは顕著であり、家族構成や生活スタイルにも大きな違いが見られる。家庭教育学級教育講演会を開催し、学級の枠を超えた学習の機会を提供している。
これまでの取組	つくば市内の幼稚園児・保育所児童と小学生が交流事業を実施して、相互の様子を確認したり、教師間の合同研究会を実施し保育と教育の違いを理解し就学後の教育に繋げた。乳幼児家庭教育学級及び幼稚園家庭教育学級を開設し、学級の枠を超えた学習の機会として、乳幼児から思春期の子どもをもつ保護者を対象とした講演会を年3回開催した。
提言に関する取組	教育講演会の開催に向け、私立幼稚園にも積極的に広報活動を行った。

優先順位	施策番号(5桁)	H25当初予算額 (H25決算額)	取組の実績
	施策名	H26当初予算額	取組の課題・今後の計画
1	70101	225,641 (227,335)	推進校5校を指定し、幼稚園児・保育所児童と小学生が交流事業を行う幼保小連携教育推進事業の実施、また、幼児教育振興事業として、入卒園式、運動会、発表会及び未就園児体験保育等の円滑な実施に寄与した。
	幼児期の育ちに合わせた教育環境の充実	331,993	26年度で、小学校37校すべてで実施済みになる。来年度からの実施については、事業内容も含めて検討する必要がある。
2	70102	5,546 (4,928)	家庭の教育力向上を図り、子どもの健全な育成に役立てるため、乳幼児学級から祖父母学級まで76学級を開設した。また、学級の枠を超えての講演会を2回開催したほか、乳幼児の保護者を対象に講演会を開催し、そのあと、父親だけのワークショップを行った。
	家庭教育の支援	5,530	引き続き、各家庭教育学級が一定期間にわたって計画的かつ継続的に円滑な運営ができるように支援する。また、学級の枠を超えた学習の場も提供するとともに、父親も参加できる催し物を実施していく。
701全体に属する事業		20,359 (20,359)	社会教育指導員を16名を委嘱し、社会教育の特定分野における直接指導、学習相談及び社会教育関係団体の育成などに取り組み、主に家庭教育学級を担当して社会教育の推進を図った。
		20,159	引き続き、社会教育の推進に取り組むため、家庭教育学級を担当し、未就学児を持つ家庭の教育力の向上と父親の家庭教育への参加の促進を図る。
合計		251,546 (252,622)	-
		357,682	-

自己評価(主管部署評価)

総合評価	評価コメント
A	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てることを目的に、乳幼児家庭教育学級や幼稚園家庭教育学級を開設し、家庭教育の知識をはじめ子どもの健康・心理・食育・親の役割など専門家による学習機会の提供を行っており、有効な事業である。

課題・今後の展開

幼児教育から小学校教育へスムーズに適應するためには、幼稚園・保育所と小学校の教員・保育士・幼児教育関係者が互いの教育のあり方について十分に理解・連携し、子どもの育ちに即した教育を行うこと必要である。また、家庭教育については、少子化や核家族・情報化の進展に伴い、子どもを取り巻く環境は著しく変化し、地域社会や家庭の教育力の低下が指摘されている。こうしたことから、保護者同士の交流を通じて保護者、地域の教育力を高めるため、就学前の子ども達の交流の拡大や、保護者や地域の人たちが共に学び交流する場を充実させることが重要である。

施策評価調書

主管部	教育委員会事務局	対象	25年度
所管部	総務部		

施策の大綱	第 7 節	健やかな人を育む教育・スポーツのまち	(育み の創造)
施策名(3桁)	702	学校教育の充実	
基本方針	<p>学校と家庭，地域社会が十分な連携を図りながら，総合的かつ計画的に教育内容や教育体制の充実を図ります。</p> <p>「つくば市学校等適正配置計画について(指針)」に基づき，学校等の適正配置について検討を進めます。</p>		
達成目標	子どもたちが，やさしく，しなやかに，たくましく生きる力を育むことができるとともに，「確かな学力」と「豊かな心」，「健康・体力」が身につく。		

	総合計画の代表指標	現状値 (年度)	実績				目標値	
			H22	H23	H24	H25	H26	
1	小学校における教科担任制の実施率(小学校5,6年生の国語,社会,算数,理科のいずれか)	29.7%	数値	43.2	51.4	68.4	71.4	73.0%
		H21	達成率	31.2%	50.1%	89.4%	96.3%	
2	教員の研修受講率(市独自研修)	0.69回/人	数値	0.71	0.74	0.75	0.75	0.79回/人
		H20	達成率	20.0%	50.0%	60.0%	60.0%	
3	学校施設耐震化率	38.0%	数値	58.0	65.0	79.0	87.0	75.0%
		H21	達成率	54.1%	73.0%	110.8%	132.4%	
補足指標		現状値 (年度)	実績				目標値	
				H22	H23	H24	H25	H 27
1	小中一貫教育の実施中学校区数		数値	3	7	15	15	15
			達成率	20.0%	46.7%	100.0%	100.0%	
2	次世代環境教育カリキュラム導入校		数値	6	9	52	52	52
			達成率	11.5%	17.3%	100.0%	100.0%	
3	次世代キャリア教育カリキュラム導入校		数値	3	4	52	52	52
			達成率	5.8%	7.7%	100.0%	100.0%	
4	つくばちびっ子博士事業に参加した延べ人数		数値	60,000	70,000	80,000	86,300	70,000
			達成率	85.7%	100.0%	114.3%	123.3%	
5			数値					
			達成率	-	-	-		
市民満足度(市民意識調査)		H21	H23		H25		前回比	
1	小中学校の学校教育に満足している人の割合	35.3%	37.6%		38.1%		0.5	

指標分析

小中一貫教育の推進を進めていく中で，教科の専門性を高め，中学校へのスムーズな移行を目的とし，小学校高学年において，教科担任制の実施を進めたこと，さらに，小学校において教科のバランスを考えた人事異動を行ったことから，年々増加傾向にある。教員の研修講座については，内容の精選と講座内容の改善を行い実施した結果，教員の研修受講率は増加傾向にある。学校施設耐震化については，予算を1年度前倒し耐震化を加速させることができたので，平成26年度は94%を目標として取り組む。

つくば市の特殊性

つくば市の教員数は1,300名を超えている。小中一貫教育やつくば市独自の新教科であるつくばスタイル科への共通理解とさらなる推進のためにも，教員の指導力向上のための研修が必要である。教育日本一に向け，教員のイノベーションを図れるような研修を計画的に実施していく必要がある。平成24年度から小中一貫教育を完全実施し，小学校教科担任制はそのうちの重要施策のひとつとなっている。

これまでの取組

小中一貫教育を進めていく以前から，いくつかの学校では教科担任制が実施され，それが基盤となっている。平成20年度から，指定校の取組による教科担任制が広まり，可能な限り実施するように努めた。現在では，小学校においても教科のバランスを考えた人事異動も行っている。総合教育研究所主催研修と教育指導課主催研修，市教育研究会との連絡・調整を図ることで，教職員の多忙感につながらないように，研修の在り方についても配慮している。

提言に関する取組

-

優先順位	施策番号(5桁)	H25当初予算額 (H25決算額)	取組の実績
	施策名	H26当初予算額	取組の課題・今後の計画
1	70201	208,709 (191,496)	小中一貫教育完全実施して3年目を迎え、各学園共に充実した取組がされた。小中一貫教育ステップ表ステップ3を達成した。小中一貫全国サミットをつくば市で実施したが日本全国から、3000人が集まり高い評価を受けた。
	教育内容の充実	218,342	小中一貫教育の充実を図るために、小中一貫教育評価委員会を立ち上げ、より質の高い小中一貫教育ができるようにする。
2	70202	762,276 (684,499)	児童生徒の情操を高めるため、全学園(15学園)に対し演劇鑑賞・音楽鑑賞などを実施した。また、読書活動を推進するため、全小学校に学校図書館司書教諭補助員を配置し、児童に対する読書環境の向上を図った。
	豊かな心と生きる力の育成	711,450	小中一貫教育を推進するため、引き続き学園単位で演劇鑑賞・音楽鑑賞などを実施し、児童・生徒の豊かな心の育成を図る。また、読書活動では、各校によって図書整備状況が異なることから、学園間の交流や、中央図書館との積極的な連携を目指す。
3	70203	2,720,349 (1,496,680)	学校保健安全法に基づき、各学校等に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を配置し、定期健康診断、保健指導、環境衛生検査等を実施し、児童等の健康の保持増進と環境衛生面の向上を図った。眼科検診について26年度から全学年で実施するための条例改正等の手続を行った。つくば市立学校給食センター整備基本計画に基づき、(仮称)中部豊里学校給食センターを24年度から建築工事に着手し26年1月に完成、同年4月に供用開始した。給食食材の放射性物質の測定を毎日行い、結果をホームページに公表した。
	心身の健康づくりと体力の向上	826,946	つくば市立学校給食センター整備基本計画に基づき、児童・生徒増に対応する給食調理能力の拡充、老朽化への対応、現行の学校給食管理基準等に対応するため、(仮称)新谷田部学校給食センターの整備を推進していく。(26年度事業:既存の谷田部給食センター解体工事、新谷田部センターの造成工事設計・建築工事設計)
4	70204	16,551 (16,206)	教職員の指導力向上を目指し、総合教育研究所主催研修講座として、26講座を実施した。また、総合教育研究所発表会を開催し、教科等協力員による研究発表を行うとともに、研究報告書「怒」を発行し、研究内容の周知を図った。さらに、小中一貫教育に関する調査を実施し、小中一貫教育指導訪問において進捗状況と課題を把握し、各学校に周知することで共有を図った。
	教育体制の充実	11,176	今日的な教育課題に対応できる教職員としての資質・指導力の向上を目指し、体系化した教職員研修を計画的に実施する。教職員研修については、総合教育研究所と教育指導課、市教育研究会との連絡・調整を図ることにより、研修の在り方について配慮していく必要がある。
5	70205	3,153,772 (2,767,508)	25年度予定されていた耐震補強設計、耐震補強工事が完了し、事業計画どおりに事業を遂行した。
	安全で快適な教育環境の整備	3,473,427	平成27年度までに学校施設の耐震化を完了させるため、平成26年度の耐震補強工事を予定どおりに執行させる。
704全体に属する事業		89,378 (79,655)	英語指導助手19名を市内全小中学校へ派遣し外国語を通じて言語や文化に対する理解を深めた。また、経済的に就学が困難な者に対して奨学金を支給した。(申請52件、採用25件)、幼稚園・小・中学校の校外学習等を推進するため、学校教育専用バスの利用促進を図った。(利用回数350回)
		93,771	20名の英語指導助手を採用(25年度比1名増)することにより訪問校が減り、一人当たりの授業担当可能時数が増え、3・4年への外国語活動への幅が広がる。奨学金の財源となる基金が、平成28年度支給分までしかないため、制度について、検討する必要がある。
合計		6,951,035 (5,236,044) 5,335,112	- - -

自己評価(主管部署評価)

総合評価	評価コメント
A	子どもたちが、やさしく、しなやかに、たくましく生きる力を育むことができるとともに、「確かな学力」と「豊かな心」、「健康・体力」を身につけることを目標に、教育日本一を掲げ教員の資質向上につながる研修を企画し、研修の時期や内容なども踏まえ計画的に研修を実施することは重要である。学校の耐震化は、児童生徒などの学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であり、積極的な取り組みが重要である。

課題・今後の展開

小中一貫教育を推進するうえで、現在、施設分離型と施設一体型で進めているが、TX沿線開発地区における新設校は、施設一体型の小中一貫校の設置を検討している。また、現在ある施設分離型の学校についても、学校の適正規模化・適正配置の観点から、施設一体型への移行を検討するが、地域の実情等によりどのように進めていくかが、再重要である。

施策評価調書

主管部	市民部	対象	25年度
所管部			

施策の大綱	第 7 節	健やかな人を育む教育・スポーツのまち	(育み の創造)
施策名(3桁)	703	青少年の健全育成	
基本方針	健全な青少年の育成を推進するため、青少年の自立を促す学習の機会を充実します。		
	家庭、学校、地域社会の連携強化を図り、青少年を見守る環境の整備やネットワークづくりに努めます。		
達成目標	青少年が自覚と責任を持ち、社会の担い手として成長する。		

	総合計画の代表指標	現状値 (年度)	実績				目標値	
			H22	H23	H24	H25	H26	
1	メディア講習会の開催回数	7回	数値	16	6	9	12	14回
		H20	達成率	128.6%	-14.3%	28.6%	71.4%	
2	青少年の健全育成に協力する店舗数(累計)	216店	数値	336	346	370	397	360店
		H20	達成率	83.3%	90.3%	106.9%	125.7%	
3	あいさつ・声かけ運動実施回数	70回	数値	80	90	100	100	120回
		H20	達成率	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	
	補足指標	現状値 (年度)	実績				目標値	
			H22	H23	H24	H25	H26	
1	成人の集い参加者数		数値	1,469	1,463	1,409	1,564	1,500
			達成率	97.9%	97.5%	93.9%	104.3%	
2	子どもを守る110番の家登録数		数値	3,696	3,700	3,178	3,019	3,200
			達成率	115.5%	115.6%	99.3%	94.3%	
3	つくば市子ども会育成連合会会員数		数値	3,120	2,622	2,520	2,383	2,500
			達成率	124.8%	104.9%	100.8%	95.3%	
4			数値					
			達成率	-	-	-		
5			数値					
			達成率	-	-	-		
市民満足度(市民意識調査)		H21	H23		H25		前回比	
1	青少年の健全育成対策に満足している割合	22.9%	21.8%		24.8%		3.0	

指標分析	組織活動の努力が報われ、青少年の健全育成に協力する店舗数及びあいさつ・声かけ運動実施数も着実に増え続け、目標値まで順調にいくものと思われる。メディア講習会に関しては、ネット依存など現代的課題に対応するため、継続的に開催している。協力店舗数は、総合計画の目標値を達成しているので、平成26年度は450店を目標として取り組む。
つくば市の特殊性	新成人者が実行委員会となり主体的に成人式典を行っているほか、中学生が自ら参加している「薬物乱用防止キャンペーン」など、自主性・主体性をもって行事に参加している。
これまでの取組	子ども会育成連合会による「球技大会や体験活動」をはじめ、青少年を育てるつくば市民の会や青少年相談員による「あいさつ声かけ運動」、「薬物乱用防止キャンペーン」などに取り組んだ。
提言に関する取組	青少年を育てるつくば市民の会では、各支部毎に広報紙を発行し、子ども会育成連合会においては、HPで活動を紹介したうえ会員の募集を行った。

優先順位	施策番号(5桁)	H25当初予算額 (H25決算額)	取組の実績
	施策名	H26当初予算額	取組の課題・今後の計画
1	70301	1,000 (884)	成人式典に向け、新成人による実行委員会を組織し、実行委員会が主体となった成人式典を開催することができた。 (実行委員数34人、委員会開催回数6回)
	青少年の自立を促す活動の支援	1,045	引き続き新成人による実行委員会が主体となり、企画・運営する体制で実施し、成人式をきっかけとして成人としての自覚と責任を促す。なお、一部の心ない参加者による式典の妨害行為への対応が課題である。
2	70302	9,180 (7,746)	子ども会育成連合会及び単位子ども会によるコミュニティ事業をはじめ、青少年を育てるつくば市民の会や青少年相談員によるあいさつ・声かけ運動や社会環境浄化活動などを実施し、青少年の住みやすい環境づくりに努めた。
	青少年を支える体制づくり	7,711	次代を担う青少年のため、それぞれの青少年育成団体において青少年にとって住みやすい環境づくりを目指し、年間を通して各種の運動を展開する。
全体に属する事業		0 () 0	
合計		10,180 (8,630) 8,756	- - -

自己評価(主管部署評価)

総合評価	評価コメント
A	青少年が住みやすくなるような環境づくりを推進するため、青少年のあいさつ声かけ運動や社会環境浄化活動を展開することは有効的であり、青少年健全育成のために子ども会育成連合会や青少年を育てるつくば市民の会、青少年相談員と連携をとり、非行防止活動に取り組むことは継続すべき事業である。 地域社会で青少年を健全に育成するという意識を高めるため、市が中心となって青少年育成団体と連携をとっていることは評価できる。
課題・今後の展開	
市民ひとり一人が、青少年の活動に対する理解を深めること、また、青少年育成団体役員の高齢化に伴う後継者不足が課題である。 今後、青少年を育てるつくば市民の会や子ども会育成連合会、PTA連絡協議会と協議の場を設け、青少年の健全育成のための連携事業や将来的な再編に向けた検討を進めていく。	

施策評価調書

主管部	市民部	対象	25年度
所管部	教育委員会事務局		

施策の大綱	第 7 節	健やかな人を育む教育・スポーツのまち	(育み の創造)
施策名(3桁)	704	生涯学習の推進	
基本方針	市民の生きがいや学びの場となる生涯学習の内容と機会の充実を図るとともに、生涯学習環境の整備に努めます。		
	市内に存在する文化財・歴史史料の保護と活用に努めます。		
達成目標	市民が生涯を通して学び、家庭生活や地域活動にいかしている。		

	総合計画の代表指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	
1	放課後子ども教室参加者数	1,873人	数値	1,942	3,000	4,414	8,462	8,000人
		H20	達成率	1.1%	18.4%	41.5%	107.5%	
2	文化財展示施設の入館者数(累計)	32,917人	数値	41,955	39,602	51,175	41,392	40,000人
		H20	達成率	127.6%	94.4%	257.8%	119.7%	
3	図書館の貸出利用者数	346,457人	数値	343,047	326,664	337,549	326,094	360,000人
		H20	達成率	-25.2%	-146.1%	-65.8%	-150.4%	
	補足指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	
1	出前講座受講者数		数値	438	569	495	1291	500
			達成率	87.6%	113.8%	99.0%	258.2%	
2	地域交流センター講座受講者数		数値	11,114	9,142	9,211	10,270	12,350
			達成率	90.0%	74.0%	74.6%	83.2%	
3	民家園入場者数		数値	10,010	8,952	9,985	6,767	11,000
			達成率	91.0%	81.4%	90.8%	61.5%	
4	埋蔵文化財所在の有無の確認件数		数値	56	66	61	81	65
			達成率	86.2%	101.5%	93.8%	124.6%	
5	文化財関係講師派遣等件数		数値	25	43	39	40	45
			達成率	55.6%	95.6%	86.7%	88.9%	
市民満足度(市民意識調査)		H21	H23		H25		前回比	
1								

指標分析	放課後子ども教室については、保護者をはじめとした地域の方々の協力のもと、開催日数を増やしたことにより、目標値を上回る結果となった。文化財展示施設の入館者数は繁忙期の天候等により昨年度から大幅減となったが、目標値に達したので、42,000人を目標として取り組む。図書館の貸出利用者数についても、集客の見込まれる土・日が天候不順が多く、減少が大きかった。
つくば市の特殊性	筑波山など豊かな自然を有するとともに、大学や研究機関が集積されているの環境であり、生涯学習を推進するには恵まれた地域である。また、地域交流センターや市民ホールなど学習活動の場も充実している。
これまでの取組	平成18年に生涯学習推進基本計画を策定し、平成27年に計画が終了となることから、次期計画策定に向け、社会情勢の変化に応じた見直しを行うため、平成24年度に生涯学習に係る市民意識調査を実施し、市民ニーズを把握した上で、平成25年度においては、つくば市における生涯学習推進の取り組みについて現状の把握と課題の整理を行った。
提言に関する取組	地域交流センター主催講座において、つくばの歴史や自然に関する講座、特に、現在認定に取り組んでいるジオパーク関連講座を実施している。

優先順位	施策番号(5桁)	H25当初予算額 (H25決算額)	取組の実績
	施策名	H26当初予算額	取組の課題・今後の計画
1	70402	16,848	生涯学習基本計画の見直しのため、生涯学習審議会を4回開催し、現状の把握と課題の整理を行った。また、サイエンスラボや人間学講座等を実施したほか、指導者情報を随時提供して学習機会の充実を図った。
	生涯学習の内容の充実と機会の提供	(13,557)	
2	70403	2,673	地域交流センターなど学習機会の場を提供し団体活動の支援を行ったほか、主催講座の講師として依頼し、指導者の実践的な養成に努めた。
	生涯学習団体等の活動支援	(2,284)	
3	70404	557,347	地域交流センターにおいては、利用者との意見交換会の開催や利用者アンケートを実施し、利用者ニーズに応じた施設運営に努めてきた。
	生涯学習施設の整備・活用	(619,236)	
4	70405	131,057	史跡金田官衙遺跡の土地4,067㎡を公有化し、民俗基本調査報告書を作成。史跡・埋蔵文化財の試掘・確認・本調査を計19箇所実施した。
	文化財の保存	(129,540)	
5	70406	164,710	移動企画展や講演会、平沢官衙遺跡歴史ひろばでの四季の催事等を通じて、市民が歴史に触れる機会が提供できた。国史跡小田城跡の復元整備も順調で、計画の8割強が終了した。
	歴史や文化財に触れる機会の提供	(183,749)	
6	70406	164,710	江戸時代後期建築の古民家があるさくら民家園を通して昔の生活様式に触れる機会を提供しつつ、学習や文化活動、憩いの場として幅広く利用された。
	歴史や文化財に触れる機会の提供	(183,749)	
704全体に属する事業		2,539	
		(524)	
		2,832	
合計		1,039,884	-
		(1,132,639)	
		1,207,152	-

自己評価(主管部署評価)

総合評価	評価コメント
A	市民が生涯を通して学び、家庭生活や地域活動に活かすための機会づくりや学習活動の場として地域交流センターなど生涯学習施設を整備していることは、市民の自主的な活動を促すことに繋がる。このように、学習環境を整備し、市民が安心して利用できることは評価できる。

課題・今後の展開

生涯学習を推進するため、生涯学習団体や指導者の養成に努める。また、地域交流センターを地域コミュニティの拠点として市民ニーズを把握しながら利用拡大を図る。今後は、第2次生涯学習推進基本計画の策定に向け、平成26年度から平成27年度にかけて生涯学習審議会で審議し、答申を踏まえた計画案を作成し、パブリックコメントを実施し、計画を策定する。

文化財の活用については、移動企画展・講演会の開催や伝統文化教育の学校支援を継続的に行い、利活用の推進を図る。

施策評価調書

主管部	市民部	対象	25年度
所管部	都市建設部		

施策の大綱	第 7 節	健やかな人を育む教育・スポーツのまち	(育み の創造)
施策名(3桁)	705	スポーツ・レクリエーションの振興	
基本方針	スポーツイベントの誘致や地域密着型のスポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民が健康増進と体力づくり、市民相互の交流促進を図ることができる機会の充実に努めます。そのため、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点を整備し、指導員の育成と活動の拡充を図ります。		
達成目標	だれもが気軽にスポーツに親しみ、心身ともに健康になる。 スポーツ・レクリエーションを通じて交流が育まれる。		

	総合計画の代表指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	
1	スポーツ・レクリエーションに満足している市民の割合	46.2%	数値		43.8		43.6	60.0%
		H21	達成率	-	-17.4%	-334.8%	-18.8%	
2	体育館の耐震化率(学校施設を除く)	54.5%	数値	54.5	76.0	87.5	87.5	81.8%
		H21	達成率	0.0%	78.8%	120.9%	120.9%	
3	スポーツ施設の利用者数	380,000人	数値	405,000	365,000	451,000	459,122	480,000人
		H21	達成率	25.0%	-15.0%	71.0%	79.1%	
	補足指標	現状値	実績				目標値	
		(年度)		H22	H23	H24	H25	H
1			数値					
			達成率	-	-	-		
2			数値					
			達成率	-	-	-		
3			数値					
			達成率	-	-	-		
4			数値					
			達成率	-	-	-		
5			数値					
			達成率	-	-	-		
市民満足度(市民意識調査)		H21		H23		H25		前回比
1								

指標分析	つくばマラソンは約16,000人、つくば健康マラソンは約1,400人の参加者があり、他の各種大会の参加者数も安定している。また、スポーツ教室については、新たに3教室を開講した。体育館の耐震化率は、総合計画の目標値を達成しているため、平成26年度は87.5%を目標として取り組む。
つくば市の特殊性	つくば学園ウォークラリー大会などは、周辺部開催の場合は参加者数が減るなど、地域によって参加者数に差が出てきている。つくば市は、6か町村が合併して誕生した市で、旧町村ごとにスポーツ・レクリエーション施設があり、市全体から見ると分散配置されたかたちとなっている。
これまでの取組	つくばマラソンやつくば健康マラソン、つくば学園ウォークラリー大会、つくばリレーカーニバルなどの各種大会や各種スポーツ教室(エアロビ・ゴルフ・水泳・パレーボール・ノルディックウォーキング・運動教室・ヨガ・トレイルラン・チビッコスキー)などを開催している。
提言に関する取組	スポーツ推進計画の進捗状況をPDCAサイクルに基づいて検証していく。

優先順位	施策番号(5桁)	H25当初予算額 (H25決算額)	取組の実績
	施策名	H26当初予算額	取組の課題・今後の計画
1	70501	28,757 (29,791)	つくばマラソンやつくば健康マラソン、つくばリレーカーニバルなどの各種大会やスポーツ教室(エアロビ・ゴルフ・水泳・バレーボール・チビッコスキー・ノルディックウォーキング・子どもの運動教室・ヨガ・トレラン)を開催している。
	スポーツ・レクリエーション活動の支援	31,083	各種スポーツ大会や各種スポーツ教室を開催していく。つくばマラソンは、20,000人規模の大会すべく新たなコースを設定していきたい。スポーツ教室については、子どもを対象とした教室の充実を図っていく。
2	70502	191,681 (174,828)	体育館7棟、グラウンド7か所、テニスコート2か所(8面)、柔剣道場1棟の維持管理を行ったほか、ウェルネスパークについては指定管理者制度を導入しており、指定管理者との連絡を密に行うことで民間の効率的な運営方法を活かした管理を行った。
	スポーツ・レクリエーション環境の充実	216,700	体育施設はすべての施設が老朽化しており、今後修繕費の増加が見込まれる。今年度は豊里柔剣道場の耐震補強工事設計を実施し、かつ、点検作業を強化することで安全面の確保に努める。また、施設利用者の増加が市民の健康増進に繋がることから、広く広報活動を行い集客増を図る。
3	70503	2,375 (1,542)	つくば市スポーツ推進委員協議会研修会の開催。市主催事業(つくば学園ウオークラリー大会・つくばマラソン・つくば健康マラソン・つくばリレーカーニバル)の係員協力。県スポーツ推進委員協議会研修会、県スポーツ推進委員協議会女性研修会、関東スポーツ推進委員協議会研究大会に参加した。
	スポーツ・レクリエーション活動体制の強化	1,764	スポーツ推進委員は、ある程度のスポーツ指導の経験が必要であるため再任のケースが多い。世代間の継承をしながら人材を発掘し、今後とも引き続き協議会全体の活性化を図る。
705全体に属する事業		2,375 (368)	スポーツ推進審議会において「つくば市スポーツ推進計画」を策定した。
		400	スポーツ推進審議会において、スポーツ推進計画の進捗状況を検証していく。
合計		225,188 (206,529)	-
		249,947	-

自己評価(主管部署評価)

総合評価	評価コメント
A	だれもが気軽にスポーツに親しむためには、まず安全が最優先される。耐震化率は、建物の安全性の指標であり取組の有効性は高い。各種スポーツ大会や各種スポーツ教室を開催し推進することは、市民のニーズに応える多彩な健康づくり活動の機会を提供している。市民が気軽にスポーツに親しみ、健康増進を図れるように、多彩な活動機会の提供やスポーツを通じて市民相互の交流を図ることができる施設の充実が必要である。
課題・今後の展開	
スポーツ大会の内容の充実に努め、参加者からの高い人気を維持しつつ、競技以外にも市民が参加できる魅力の創出に努める。各種スポーツ教室においては、参加者数だけで評価せず、教室の内容も検証し市民のニーズが高い教室を開催する。「つくば市スポーツ推進計画」策定されたので、今年度以降、計画の進捗状況を検証していく。	